

日本小児科学会医療安全委員会主催

第8回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2018年12月1日（土）13：30～17：00

開催場所：九州大学病院

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：38名（12施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師14名、看護師13名、放射線技師11名

参加施設：長崎大学病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、福岡市立こども病院、総合病院鹿児島生協病院、北九州市立八幡病院、福岡徳洲会病院、福岡大学病院、九州大学病院、琉球大学医学部附属病院、国立病院機構九州医療センター、総合病院山口赤十字病院、福岡赤十字病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実践：第1部は全員に座学形式で共同提言の要点を伝える場とした。第2部は4グループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1-2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。本コースを通して、他施設の現状を知ることによって自施設の強みや弱みが明らかになり新たな気づきを得る機会を提供した。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.34（6点満点）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.45（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.84（同）であった。参加者の声として、多職種/多施設で意見交換ができてきたことが非常に好評で、1日コースにして欲しい、もっと議論したかったなどの声が複数あった。また、鎮静トラブルなどの事例やアクションプランの実際の取り組みを知りたい、など具体的な事案の呈示を希望する声があった（担当者を決めて対応予定）。コース3か月後に事後アンケートを行い、アクションプランの進捗評価を実施する予定。

コース運営と今後の取り組み：①第9回 SECURE コースは2019年2月16日に東京医大で開催予定（関連施設の医療安全委員会宛に通知済み）。②2019年夏を目標に「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」の改訂作業を開始している。③SECUREコースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧できるよう計画中。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98